

日本歴史時代作家協会 理事会 議事録

日 時	令和 8 年 2 月 1 日(日) 16 : 00～17 : 50
場 所	meeting base つどい 新宿 room-C (新宿エルタワー 14F)
出席者 (理事)	飯島一次、伊多波碧、加藤淳、橘かがり、久宗圭一、森川雅美、森田健司、 理流 (書記)、計 8 名 柏原弘幸 (監査役) (欠席者) 雨宮由希夫、藤原緋沙子、菊池仁、計 3 名
出席者 (他)	三田誠広 (代表理事代行) 石井建志、稲葉稔、ねこ沢ふたよ

0. はじめに

理事 (定数 11 名) の過半数の出席を得て、理事会は成立する。

今回は拡大理事会で、会員 3 名の出席を得る。

理事会は、久宗理事の司会、理流の書記で進行した。

1. 審議事項

① 2026 年度の役員人事案について

今期にて現理事及び監査役全員が任期満了となるため、来期の理事及び監査役を、本年 6 月開催予定の総会で選任することとなる。

6 月の通常総会に役員関連人事案を提案する。総会での役員人事案が承認された後に発効するものとする。

② 文学フリマ東京 42 のブース出店について

以下 2 点が承認される。

→前回 (2025 年 11 月) 同様に 2 ブース 4 名席にて出店する (出店料 15,200 円)。

→出店に合わせて、協会オリジナルのアンソロジーを制作・販売に取り組む。(3 月中旬までに掲載原稿を集める。スケジュールがタイトなので、無理な場合は次々回の 2026 年 11 月に向けて制作を進める)

③ 法人化手続き推進について

法人化手続き推進については既に理事会承認されているが、今回はその手続きの進め方についての提案 (添付資料①②参照とう)

1) 法人の種類について

会員事業 (非営利) と営利事業を分けて税務申告ができるメリットがある
「非営利型一般社団法人」にて取り進める。

2) 法人化の手順について

一旦、新・法人を設立し、今の任意団体である協会の資産と事業を引き継ぐ。

3) 今後の進め方について

(1) 総会での決議

協会として“法人化の承認”及び“解散と資産譲渡の決議”を行う。

(2) 定款の作成

現行の会則を基に、改めて法人の目的・名称・事務所所在地・会員制度・役員規定などを定めた定款を作成する。

(3) 公証役場での定款認証

公証人に定款が正当であることの証明を得る。

(4) 設立登記

法務局に設立登記申請書を提出する。(提出日が法人成立日となる)

(5) 事務引き継ぎ

現 協会の名義の銀行口座や諸契約(電子書籍関連、サーバー等)を法人名義に切り替える。

4) 手順についての提案

上記3)の「(1)総会での決議」を年次定時総会ではなく、会則第16条及び第17条に基づき臨時総会を開催して行うこと。

→2026年3月に臨時総会を開くことで日程を調整することを決定。

5) 手続きに当たっての予算について

最低約12万円が必要だが、手続きを司法書士等の専門家に依頼する場合は対価(50,000～150,000円)が必要となり、計約30万円を見込む必要がある。

2. 報告事項

① 第2回女子会企画のご案内(橘理事)

・7月～9月の予定で、「中華エンタメ」のイベントを企画。ゲストスピーカーは千葉ともこさん、小島環さんを予定。

② 電子書籍出版の新サービス「歴史行路文庫 Neo」の紹介と進捗報告(理流理事)

日本歴史時代作家協会が提供する「電子書籍出版サービス」は、Amazon Kindle Direct Publishing (KDP) を利用し、会員が自身の作品を電子書籍およびペーパーバックとして刊行できる出版支援サービス。

本サービスでは、協会が新レーベル「歴史行路文庫 Neo」として出版の窓口を担い、KDPへの登録やロイヤリティ管理などをサポートする。一方で、原稿執筆や校正、表紙制作などの制作主体はあくまで著者本人とし、自立した電子出版を基本方針とする。

電子書籍本文の作成は Word ですべて可能。

著作権は著者に帰属し、Amazon から支払われるロイヤリティは全額を著者に還元。歴史小説に限らず、ジャンルや分量を問わず、協会会員であれば利用可能。「まず一冊を世に出したい」「自分の作品を電子出版で試してみたい」会員のための、実務に即した電子書籍出版サービスだ。

現在、サービスの開始前のトライアルとして、新会員の 4 氏（上原徹氏、木山省二氏、あすみねね氏、ねこ沢ふたよ氏）の作品を「歴史行路文庫 Neo」にて制作中。2026 年 2 月から 4 月の刊行を目指している。

新サービスは、2 月にスタート予定で、メールおよび協会 Web サイトにて告知する。

- ③ 「ほんまる」にて、2 月下旬より会員のサイン本の展示販売を開始予定のこと（理流理事）
（会員に向けてサイン本の出品の告知を 2 月上旬に行い、出品本を募る）
- ④ 日本文藝家協会後援シンポジウム開催（森川理事）
 - ・ 告知チラシ完成。
 - ・ 近日中に司会の羽鳥好之氏と当会側で打ち合わせを行う。
- ⑤ 会報 12 号の進行状況報告（森川理事）
 - ・ 現在、初校校正中で 2 月 20 日ごろの発送を目指す。
- ⑥ 京都府が推進する「時代劇製作技術を国の登録無形文化財に」について（久宗理事）
※補足資料参照乞う
 - ・ まずは、同活動の賛同団体に入ることを目指す。（賛同そのものに費用は掛からない）

以上